

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス浜松教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 17日 ~ 令和7年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 6日 ~ 令和8年 1月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士で疑問点などを言い合える機会を作り、支援に活かしている。	日々の気になった点をその日に振り返ったり、週末には二ヵ所の事業所のオンラインミーティングで全員発言し、共有している。非常勤には出勤時に伝えている。	非常勤職員も気軽にミーティング参加できるようにしたり、文字に起こして書類として確認できるようにしていきたい。
2	保護者からの信頼。	日々の様子を送迎時にお伝えしたり、自力通所の子にはメールなどで様子をお伝えすることもある。振り返り書類を発行して、事業所の様子を共有している。	事業所と繋がることで、保護者は安心しているが、次のステージや資源を提供できるように、職員の知識向上を図ることで保護者に提案し、新しい利用者を受け入れられるようにしていきたい。
3	中高生プログラムの充実。	パソコントレーニングなど、魅力のある取り組みをしながら、コミュニケーションスキルも同時に獲得できるように工夫している。自立強化、グループコミュニケーションで、他者との関りや、社会に出るために必要なスキルを、同年代の子と繰り返し取り組める機会を提供している。	事業所の立地を活かし、実体験を盛り込んだ療育を提供していきたい。

令和7年 11月 17日

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や地域交流がない。	業務多忙のため時間が取れず、後回しになってしまう。	人員補充するための、売り上げアップ。
2	学年が上がっても利用を継続する子が多く、新しい利用者を受入れられない。	保護者が不安を抱えており、長年関わっている職員に直ぐに相談できるので、利用は月に数日でも利用を継続していきたい人が多い。	相談場所、居場所などの社会資源を案内するための、職員の知識向上。
3	書類やメールのやり取りが難しい家庭があり、必要な情報が伝わらず、あの手この手を使うことで、業務が円滑に回らない。	メールが埋もれて確認してもらえない。ファイルにメモを入れても見ていない。電話をすると忙しそうで毎回電話するのも気が引ける。	放ディに預けて安心しているかもしれないが、利用するにあたって書類のやり取りや、面談は必要不可欠だと日頃から伝えていく必要がある。